

## 2023年版「総合検査案内」 改訂に関するお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社2023年版「総合検査案内」につきまして、掲載情報の改訂の他、先生方のご要望・ご意見を反映させていただくよう見直しを行いました結果、次のように変更させていただくことになりましたのでお知らせ申し上げます。

何卒ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白



### 2023年度版「総合検査案内」の主な改訂ポイント

- 4月1日に受託を開始する新規項目(弊社Information No.2023-12)までを掲載いたしました。
- 本文
  - 【微生物学的検査】
    - ・「C.difficile検査のフローチャート」と「抗酸菌検査のフローチャート」を掲載いたしました。
    - ・「抗酸菌(結核菌)薬剤感受性試験-4薬剤以上の検査対象薬剤およびPZA」と「非結核性抗酸菌/MIC測定および迅速発育抗酸菌/MIC測定の検査対象薬剤」を掲載いたしました。
  - 【染色体・遺伝子関連検査(血液疾患関連・悪性腫瘍関連検査)】
    - ・染色体・遺伝子関連検査の項目名に記載している融合遺伝子名を、ヒトゲノム解析機構(HUGO)の遺伝子命名委員会が推奨する国際標準遺伝子記号に準拠した表記に変更いたしました。
    - ・スライドまたはパラフィン切片を用いてご依頼いただく場合の「検体必要量」について、未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m厚 5~10枚に変更いたしました。
- 参照資料
  - 【クラミジア・淋菌同時測定(TMA法)採取方法】
    - ・「3. 咽頭からの採取(専用容器:APTIMA-S)」を追加いたしました。

※ 改訂内容の詳細と対象項目につきましては、次ページ以降の一覧をご参照ください。



## ● 新規受託開始項目

既報Informationにてお知らせしました新規受託項目・研究検査項目を、一覧(当報3ページ))にお示しいたしました。

## ● 掲載内容改訂項目

既報Informationにてお知らせしました検査内容の変更や、所要日数の見直し等により、内容を一部改訂させていただきました。詳細は一覧(当報4～13ページ)にお示しいたしました。

## ● 掲載削除項目

既報Informationにてお知らせしました受託中止項目を、一覧(当報14ページ)にお示しいたしました。

## ● その他

### 1. ご利用の手引き

- ・手引き-3 「検査結果のご報告」に掲載されているアミノインデックス報告書とアレルギー検査チャートの見本を更新いたしました。  
専用検査チャートに sd LDL-C (健診) 検査チャート を追加いたしました。
- ・手引き-4 「検査の受領と輸送」について検査委託先の記号と名称を更新いたしました。  
【追加】[36] 株式会社DNAチップ研究所
- ・手引き-7,8,9 「曜日指定項目一覧」「親展報告項目一覧」「チャート報告対象項目一覧」について、検査の新規受託、内容変更、受託中止に伴う更新を行いました。
- ・手引き-10 「検査方法の略号」に NGS : Next-generation sequencing 次世代シーケンシング法を追加いたしました。
- ・手引き-11 個人情報保護方針を更新いたしました。  
「認定・登録証」にISO27017を追加いたしました。
- ・手引き-12 「遺伝学的検査(倫理指針項目)のご依頼」について、ビー・エム・エル倫理ガイドラインの改訂に伴い、一部内容を更新いたしました。(実名でのご依頼、非親展報告についての文言を追加いたしました。)

### 2. 染色体・遺伝子関連検査 (161, 162, 164, 244 ~ 246 ページ)

- ・染色体・遺伝子関連検査の項目名に記載している融合遺伝子名をヒトゲノム解析機構(HUGO)の遺伝子命名委員会が推奨する国際標準遺伝子記号に準拠した表記に変更いたしました。

### 3. 参照資料 (191, 192, 200, 209, 215 ~ 220 ページ)

- ・「検体の採取・容器およびご提出方法」について、血清・血漿分離の記載に遠心力の表記を追記いたしました。
- ・「細菌検査の検体の採取方法」について、便検体の採取方法を追加いたしました。
- ・「クラミジア・淋菌同時測定 (TMA法) 採取方法」について、咽頭からの採取方法を追加いたしました。
- ・「特殊病理組織検査の提出方法」について、新規受託開始項目であるPD-L1/SP263、MMR/IHC、BRAF V600E 変異タンパクの固定時間を追記しました。
- ・「造血器腫瘍関連 染色体/遺伝子項目一覧」について、一覧表を更新いたしました。
- ・「検査方法の概略」について、検査の方法と説明文を更新し、配置を見直しました。

### 4. BML 登録衛生検査所

- ・弊社ラボの新設や移転に伴い、衛生検査所登録情報を更新いたしました。

## 新規受託開始項目

新検査案内掲載ページ	依頼コードNo.	検査項目名	BML Information No.
7	13759	sd LDL-C (small dense LDLコレステロール)	2022-49
32	13912	クロザピン【血中薬物濃度測定】	2023-7
40,73	13734	TSAb/バイオアッセイ法 (甲状腺刺激抗体)	2022-23
43,52	13733※1	遊離βHCG (HCGβサブユニット)/CLIA法	2022-22
45,74	13911	インスリン抗体	2023-6
73	11560	抗ミトコンドリアM2抗体定量 (AMA-M2定量)/CLEIA法	2023-5
78	13748	腔トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム/リアルタイムPCR法	2022-31
109	13756	HIV-1,2抗原・抗体同時測定定量/CLIA法	2022-42
141,143	08998	一般細菌薬剤感受性試験 タゾバクタム/セフトロザン	2023-11
150,151	86806	抗酸菌同定・薬剤感受性セット	2023-12
150,151	08772	PZA (ピラジナミド)薬剤感受性検査	
150,151	03185	非結核性遅発抗酸菌 (NTM) 薬剤感受性検査/MIC測定	
150,151	86207	迅速発育抗酸菌 (RGM) 薬剤感受性検査/MIC測定	
164	13298	Major BCR-ABL 高感度%-ALL	2022-43
165	13738	肺癌KRAS G12C変異解析	2022-34
166	77447	甲状腺癌オンコメインマルチCDx-FFPE	2022-27
166	77448	甲状腺癌オンコメインマルチCDx-凍結組織	
167	13793	肺がんコンパクトパネル-FFPE	2023-9
167	13795	肺がんコンパクトパネル-液性検体	
167	13794	肺がんコンパクトパネル-凍結組織	
172	13749	先天性難聴の遺伝子解析 (Ver.2)	2022-47
175	13730	Y染色体微小欠失検査 (AZF欠失)	2022-24
178	07974	HER2タンパク染色 (大腸癌)/IHC法	2022-15
178	05275	HER2/FISH法 (大腸癌)	
179	13052	PD-L1/22C3 (子宮頸癌)/IHC法	2022-57
179	13053	PD-L1/28-8 (食道癌)/IHC法	2022-29
179	17539	PD-L1/SP263/IHC法	2022-30
179	17540	MMR/IHC法	2022-53
179	17548	BRAF V600E変異タンパク/IHC法	2023-8

※1 発行日現在、一時受託中止中

## 新規研究検査項目

新検査案内掲載ページ	依頼コードNo.	検査項目名	BML Information No.
226	13778	シトステロール	2022-50
226	13779	カンペステロール	
226	13780	コレスタノール	
230	13764※2	ガストリン	2022-51
246	13906	SF3B1変異解析	2023-1

※2 「ガストリン」につきましては、Information No.2022-51にて研究検査としての受託開始をお知らせしましたが、保険適用可能な体外診断用医薬品が発売され、2023年5月より受託開始しております。(弊社Information No.2023-17をご参照ください。)

これに伴い、研究検査項目は2023年4月28日(金)ご依頼分をもって検査の受託を中止いたしました。(弊社Information No.2023-18をご参照ください。)

本総合検査案内への差し替えが間に合わず、研究検査としての掲載になりましたこと、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

# 掲載内容改訂項目 (既報分)

新検査案内掲載ページ	依頼コードNo.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)	BML Information No.	
3	00597	アミノ酸分析(9種)	統一コード	3C046-0000-022-205	3C046-0000-022-204	2022-38	
			検体必要量	血漿 0.3mL	血漿 0.6mL		
			検査方法	LC-MS法	HPLC法		
7,226	13179	sd LDL-C (small dense LDLコレステロール)	検査項目名	[チャート] sd LDL-C (健診) (small dense LDLコレステロール)	sd LDL-C (small dense LDLコレステロール)	2022-37	
20	00445	亜鉛 (Zn)	容器	B-1 → S-1	S-1 → S-1	2022-38	
			備考	当社指定の容器で採取してください。 指定容器以外で採取した場合、測定値が上昇する場合があります。	ディスプレイザブルシリンジで採血しプラスチック管に移してください。(S-1) 遠心分離後、血清を別のプラスチック管(S-1)に移してご提出ください。 当社指定の容器で採取してください。 指定容器以外で採取した場合測定値が上昇する場合があります。 ゴムキャップの使用は避けてください。 (一部の製品で汚染の可能性あり)		
29	03553	アプリンジン(アプリンジン塩酸塩)	所要日数	3~5	4~6	2022-59	
30	07436	フレカイニド(フレカイニド酢酸塩)	所要日数	3~5	4~6		
30	03730	ピルメノール (ピルメノール塩酸塩水和物)	所要日数	3~9	4~10	2023-2	
30	01979	ペプリジル(ペプリジル塩酸塩水和物)	所要日数	3~5	4~6	2022-59	
31	03021	ジアゼパム	所要日数	3~6	4~6		
31	06171	クロバザム	所要日数	3~6	4~6		
41	13558	PAC(CLEIA)/PRA	所要日数	2~3	3~4	2023-2	
41	13559	PAC(CLEIA)/ARC	所要日数	2~3	3~4		
102	03701	サイトメガロウイルス抗原C7-HRP (CMV抗原C7-HRP)	依頼コードNo	13246	03701	2022-40	
			基準値	(-)	陰性		
			測定場所	株式会社ビー・エム・エル	北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所(KOBAL)		
131	04330	トロンボモジュリン(TM)	依頼コードNo	13902	13905	04330	2023-2
			検査項目名	トロンボモジュリン-血清	トロンボモジュリン-血漿	トロンボモジュリン	
			統一コード	2B730-0000-023-052	2B730-0000-022-052	2B732-0000-023-023	
			検体必要量	血清 0.6mL	血漿 0.6mL	血清 0.6mL	
			容器	B-1 → S-1	B-11 → S-1	B-1 → S-1	
			検査方法	CLEIA法	CLEIA法	EIA法(プレート固相法)	
			基準値	12.1~24.9	8.7~22.7	M:2.1~4.1 F:1.8~3.9	
			単位	U/mL	U/mL	FU/mL	
172	13173	若年発症型両側性感音難聴の遺伝子解析	報告範囲(報告形式)	----- 前略 ----- 11遺伝子(ACTG1, CDH23, COCH, EYA4, KCNQ4, MYO6, MYO15A, POU4F3, TECTA, TMPRSS3およびWFS1)のエクソン領域およびスプライス部位を測定し、疾患の原因と考えられる遺伝子変異をご報告いたします。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- 7遺伝子(ACTG1, CDH23, COCH, KCNQ4, TECTA, TMPRSS3およびWFS1遺伝子)のエクソン領域を測定し、疾患の原因と考えられる遺伝子変異をご報告いたします。 ----- 後略 -----	2022-52	

# 掲載内容改訂項目

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
1	11306	尿蛋白クレアチニン比	検査項目名	尿蛋白 / クレアチニン比	尿蛋白クレアチニン比
6	00454	中性脂肪 (TG)	欄外 (●脂質異常症診断基準と●リスク区分別脂質管理目標値)	「日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版」から引用	「日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017年版」から引用
	00453	総コレステロール (TC) (T-Cho)			
	00460	HDL- コレステロール (HDL-C)			
	00410	LDL- コレステロール (LDL-C)			
10	13380	LD/IFCC	保存	[室温]、[溶血注意]	[室温]
11,27	06139	TRACP-5b (酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ -5b)	所要日数	2～3	2～4
30	00675	プロプラノロール (プロプラノロール塩酸塩)	検体必要量	血漿 0.3mL 又は 血清 0.3mL	血清 0.3mL
			容器	血漿: B-6 → S-1 血清: B-3 → S-1	B-3 → S-1
35	-	●特定薬剤治療管理料 1 ①ジギタリス製剤の欄に、②で掲載していた「急速飽和」を統合記載	入院外来	入外	(なし)
			所定点数	740	(なし)
			初月加算	-	(なし)
			4か月目以降	-	(なし)
			対象疾患	重症うつ病性心不全	(なし)
	-	●特定薬剤治療管理料 1 ②抗てんかん剤の欄に、②のてんかん重積状態の患者に対して抗てんかん剤の注射などを行った場合を統合記載	入院外来	入外	(なし)
			所定点数	740	(なし)
			初月加算	-	(なし)
			4か月目以降	-	(なし)
			対象疾患	全身性けいれん発作重積状態	(なし)
	-	●特定薬剤治療管理料 1 ⑩アミノ配糖体抗生物質 (アミカシン、トブラマイシン、ゲンタマイシン、アルベカシン)をグリコペプチド系抗生物質と分けて記載	入院外来	入	(なし)
			所定点数	470	(なし)
			初月加算	280	(なし)
			4か月目以降	235	(なし)
	-	●特定薬剤治療管理料 1 ②ジギタリス製剤の急速飽和を①ジギタリス製剤の欄に統合 ②てんかん重積状態の患者に対して抗てんかん剤の注射などを行った場合を②抗てんかん剤の欄に統合	対象薬剤	移動	-
	39	13355	サイロキシン結合グロブリン (TBG)	保存 (安定性)	[凍結] (2週)
42	13390	血中遊離メタネフリン分画	備考	----- 前略 ----- ◆ 下欄参照	----- 前略 ----- (なし)
			欄外 (◆)	◆血中遊離メタネフリン分画についてのご注意 ・COMT によるドーパミン代謝物である 3-methoxytyramine が著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。 ・セロトニン、ノルアドレナリン再取り込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO 阻害剤、L-DOPA、交感神経刺激剤等の薬物投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。	(なし)
46	13647	VEGF- 血清	基準値	(POEMS 症候群の診断のカットオフ値) 1000.0	143.1 ～ 658.8
			備考	健常人基準値: 143.1 ～ 658.8 ----- 後略 -----	POEMS 症候群における診断のカットオフ値: 1000.0 ----- 後略 -----
51	12389	γ-セミノプロテイン (γ-Sm)	保存 (安定性)	[凍結] (8週)	[凍結]

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
54	-	■各臓器別腫瘍マーカー	前立腺がん	----- 前略 ----- 13675 プロステートヘルスインデックス (phi)	----- 前略 ----- (なし)
			子宮がん	----- 前略 ----- (削除)	----- 前略 ----- 体癌 00836 CA125
			卵巣がん	----- 前略 ----- 04760 STN (CEA を削除) 00746 CA19-9 00166 AFP	----- 前略 ----- 04760 STN 00165 CEA 00746 CA19-9 00166 AFP
61	02137	オリゴクローナルバンド / 等電点電気泳動法	保存(安定性)	[冷蔵] (4週)	[冷蔵]
			備考	血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内に採取して両材料を併せてご提出ください。 報告されるバンド数1本とは、血清中にはなく、髄液中にのみ検出されるバンドを意味します。	血清と髄液はペアでご提出ください。
67	-	HLA 遺伝子型検査	欄外(●)	----- 前略 ----- <a href="http://jsi.smoosy.atlas.jp/ja">http://jsi.smoosy.atlas.jp/ja</a>	----- 前略 ----- <a href="http://jsi.umin.ac.jp/index.html">http://jsi.umin.ac.jp/index.html</a>
68	03632	フロー PRA 抗体スクリーニング (抗 HLA 抗体 (スクリーニング検査))	欄外(◆)	----- 前略 ----- ・当社の参加証明: ( <a href="http://jsi.umin.ac.jp/journals/file/MHC29-1_Workshop.pdf">http://jsi.umin.ac.jp/journals/file/MHC29-1_Workshop.pdf</a> ) ----- 後略 -----	----- 前略 ----- ・当社の参加証明: ( <a href="http://www.asas.or.jp/jst/news/doc/info_20180323_1.pdf">http://www.asas.or.jp/jst/news/doc/info_20180323_1.pdf</a> ) ----- 後略 -----
	13272	抗 HLA 抗体スクリーニング検査			
	13273	HLA Class I 抗 HLA 抗体シングル同定検査 (LC)			
	13274	HLA Class II 抗 HLA 抗体シングル同定検査 (LC)			
	13275	HLA Class I 抗 HLA 抗体シングル同定検査 (LS)			
13276	HLA Class II 抗 HLA 抗体シングル同定検査 (LS)				
75.131	13648	抗リン脂質抗体検査パネル (APS 検査パネル)	備考	抗カルジオリピン抗体 IgG, 抗カルジオリピン抗体 IgM, 抗β2GP1 抗体 IgG, 抗β2GP1 抗体 IgM の4項目を同時測定します。 ----- 後略 -----	(なし) ----- 後略 -----
84	-	※ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて	欄外 (2. 除菌前の感染診断)	(1) 除菌前の感染診断については、次の7項目の検査法のうちいずれかの方法を実施した場合に1項目のみ算定できる。ただし、①から⑥までの検査の結果、 ----- 中略 ----- また、⑦の検査の結果、ヘリコバクター・ピロリ陰性となった患者について、胃粘膜に同感染症特有の所見が認められているなど、同感染症を強く疑う特有の所見がある場合に、異なる検査方法により再度検査を実施した場合に限り、さらに1項目に限り算定できる。なお、この場合において、医療上の必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 ----- 中略 ----- ⑦核酸増幅法 ----- 後略 -----	(1) 除菌前の感染診断については、次の6項目の検査法のうちいずれかの方法を実施した場合に1項目のみ算定できる。ただし、検査の結果、 ----- 中略 ----- (なし) ----- 中略 ----- (なし) ----- 後略 -----
			欄外 (6. 感染診断実施上の留意事項)	(1) 静菌作用を有する薬剤についてランソプラゾールやオメプラゾール等、ヘリコバクター・ピロリに対する静菌作用を有するとされる薬剤が投与されている場合については ----- 後略 -----	(1) 静菌作用を有する薬剤についてランソプラゾール等、ヘリコバクター・ピロリに対する静菌作用を有するとされる薬剤が投与されている場合については ----- 後略 -----
85	-	C. ディフィシル関連検査 -3 項目	欄外(●)	● C.difficile 検査のフローチャートは148ページをご参照ください。	(なし)

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
107	12904	HPV 核酸検出 (HPV-RNA) 高リスク型/TMA	欄外 (●1)	●1 婦人科 LBC ThinPrep と HPV 核酸検出 (HPV-RNA) 高リスク型/TMA のセット ----- 後略 -----	●1 婦人科液状化検体細胞診と HPV 核酸検出 (HPV-RNA) 高リスク型/TMA のセット ----- 後略 -----
	12194	HPV 簡易遺伝子型 (HPV 簡易ジェノタイプ)	欄外 (●2)	●2 婦人科 LBC ThinPrep と HPV 簡易遺伝子型のセット ----- 後略 -----	●2 婦人科液状化検体細胞診と HPV 簡易遺伝子型のセット ----- 後略 -----
109	13756	HIV-1,2 抗原・抗体同時測定定量/CLIA	欄外	HIV 検査フローチャートを挿入	(なし)
114	04114 04145 04148 57288 57292	任意の組合せによる Two-color 解析細胞表面マーカー検査	A 群 (FITC 標識抗体)	----- 前略 ----- CD30、(CD32 を削除)、CD34、 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- CD30、CD32、CD34、 ----- 後略 -----
	115			-	造血器腫瘍・赤血球表面マーカー
123	-	●疾患別に必要な骨髄像特殊染色参考項目と必要スライド枚数について	欄外 (注意事項)	----- 前略 ----- 4 塗抹標本以外の検査材料は受付けておりません。	----- 前略 ----- (なし)
137	08030	好気性菌培養・同定	備考	----- 前略 ----- ◆1、◆2、下欄参照 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- 主な材料の種類については下欄参照 ----- 後略 -----
			欄外 (◆2)	細菌検査の検体の採取方法については 192 ページをご参照ください。	(なし)
	-	薬剤感受性試験 1 菌種・2 菌種・3 菌種以上	備考	----- 前略 ----- ◆3	----- 前略 ----- (なし)
			欄外 (- 弊社の対応 -)	・報告時に「薬剤耐性菌検出あり」とコメントし、保険点数は他の検査を合算して表示いたします。 ・ESBL は <i>E.coli</i> , <i>K.pneumoniae</i> , <i>K.oxytoca</i> , <i>P.mirabilis</i> の 4 菌種に対して主に ESBLs' 栄研' ディスクを用いて確認検査を実施いたします。メタロ-β-ラクタマーゼは <i>P.aeruginosa</i> に対し主に SMA' 栄研' ディスクを用いて確認検査を実施いたします。AmpC 産生については検査対象外となります。	(なし)
欄外 (◆3)	薬剤感受性試験における実施薬剤については 141 ~ 144 ページをご参照ください。	(なし)			
138	-	微生物 輸送容器・輸送培地の一覧	欄外	微生物 輸送容器・輸送培地の一覧を参照資料より移動	(なし)
144	-	■薬剤感受性試験における実施薬剤	欄外	----- 前略 ----- *7: 緑膿菌のみ実施。	----- 前略 ----- (なし)
146	08400	酵母様真菌薬剤感受性試験	備考	----- 前略 ----- MIC 値 (μg/mL) での報告となります。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- MIC 値での報告となります。 ----- 後略 -----
	08632	糸状様真菌薬剤感受性試験	備考	----- 前略 ----- MIC 値 (μg/mL) での報告となります。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- MIC 値での報告となります。 ----- 後略 -----
147	-	特殊目的菌	欄外 (◆)	検体の採取部位による目的菌の実施の有無については、材料別検査実施目的菌一覧 (139、140 ページ) をご参照ください。	(なし)

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
148	-	毒素検査 (C. ディフィシル関連検査 -3 項目)	欄外 (●ご参考)	C.difficile 検査のフローチャートを挿入	(なし)
149	08042	塗抹鏡検 / チールネルゼン法	備考	(4行削除し、欄外へ移動)  材料が、便、皮膚、爪等は鏡検は実施しません。  酸素感受性蛍光センサー法は材料が便の時、検査は実施しません。  血液材料の場合はヘパリン入り採血管(B-18)にてご提出ください。  カルチャーボトルでの受付は不可。スクリーニングは感度の高い蛍光法をご利用ください。  培地検体での提出はコロニーの発育が認められるものに限りです。  [緊急報告] 1. 鏡検 (蛍光法・チールネルゼン法) 陽性の時 2. 培養で陽性の時	喀痰の採取は原則的に3日連続の早朝採取が推奨されています。(日本結核・非結核性抗酸菌症学会編:抗酸菌検査ガイド2020参照) 材料が、便、皮膚、爪等は鏡検の検査は実施しません。 血液材料の場合はヘパリン入り採血管(B-18)にてご提出ください。 カルチャーボトルでの受付は不可。スクリーニングは感度の高い蛍光法をご利用ください。 又、培地検体での提出はコロニーの発育が認められるものに限りです。 [緊急報告] 1. 鏡検 (蛍光法・チールネルゼン法) 陽性の時 2. 培養で陽性の時 酸素感受性蛍光センサー法は材料が便の時、検査は実施しません。
	08043	塗抹鏡検 / 蛍光法			
	08044	分離培養			
	06579	分離培養 (酸素感受性蛍光センサー法)			
	08700	結核菌群核酸同定 / リアルタイム PCR	欄外 (●結核菌群核酸同定 / リアルタイム PCR、非結核性抗酸菌 (MAC) / リアルタイム PCR の材料別必要量)	[容器列の固形培地] 小川培地 (工藤培地を削除) ビット培地	[容器列の固形培地] 小川培地 工藤培地 ビット培地
	-	抗酸菌	欄外 (◆)	抗酸菌の検査フローチャート (BML 推奨) は 151 ページをご参照ください。	(なし)
			欄外 (●)	抗酸菌の顕微鏡検査 (塗抹鏡検) および分離培養検査については、喀痰の採取は原則的に3日連続の早朝採取が推奨されています。 (日本結核・非結核性抗酸菌症学会編:抗酸菌検査ガイド2020参照)	(なし)
156	08786	MIC 測定 (最小発育阻止濃度) 非結核性抗酸菌	備考	----- 前略 ----- 保険収載されている非結核性抗酸菌の薬剤感受性検査は 150 ページをご参照ください。	----- 前略 ----- (なし)



新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
159	—	染色体 (先天性疾患)	欄外 (◆1～◆6)、(注)	<p>----- 前略 -----</p> <p>◆1 採血量が表示する必要量 (3.0mL) に満たない場合：新生児等でも 1mL 以上の採血を実施してください。1mL 以下の採血量でも検査は実施しますが、検査結果が得られない場合がありますので予めご了承ください。</p> <p>◆2 先天性疾患の検査では、薬剤投与中や採血時の過剰なヘパリンの使用により、リンパ球幼若化反応が妨げられ、分裂細胞が得られずに分析不能となることがあります。</p> <p>◆3 Q、C、R 分染法は G-分染法の補助的な検査方法となります。したがって、特別な場合を除き G-分染法をご依頼ください。</p> <p>◆4 高精度分染法 受託対象となる検体：特定の染色体にのみ狙いをつけ、それを集中的に分析します。</p> <p>1. 文献的に特定の染色体に異常が報告されている症例である場合 (既に G 分染法による検査が済んでいること) 疑われる診断名を依頼書に必ずご記入ください。</p> <p>2. 既に G 分染法の検査が済んでいるが、ある特定の染色体に異常が疑われる場合</p> <p>3. 既に G 分染法で異常が確認され、より詳細な切断点を知りたい場合 なお白血病などの血液疾患の検体については受付を行っていません。</p> <p>◆5 染色体同定 (先天性疾患)、SKY 法 (先天性疾患) ヘパリン入り専用容器に採血 G 分染法等では何番染色体に由来するものか判別できなかった marker 染色体や染色体過剰部分の由来を同定します。</p> <p>① G 分染法で染色体検査を行った後にご依頼ください。</p> <p>②既に G 分染法が検査済みの場合には、前回の依頼日、検体 No、核型を依頼書にご記入ください。</p> <p>◆6 複数項目をご依頼の場合は、所要日数が記載された日数以上かかりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>(注) 依頼書には臨床情報をご記入ください。</p>	<p>高精度分染法 (備考) 受託対象となる検体：特定の染色体にのみ狙いをつけ、それを集中的に分析します。</p> <p>1. 文献的に特定の染色体に異常が報告されている症例である場合 (既に G 分染法による検査が済んでいること) 疑われる診断名を依頼書に必ずご記入ください。</p> <p>2. 既に G 分染法の検査が済んでいるが、ある特定の染色体に異常が疑われる場合</p> <p>3. 既に G 分染法で異常が確認され、より詳細な切断点を知りたい場合 なお白血病などの血液疾患の検体については受付を行っていません。</p> <p>◆1 規定量の採血が実施できなかった場合：新生児等でも 1mL 以上の採血を実施してください。1mL 以下の採血量でも検査は実施しますが、検査結果が得られない場合がありますので予めご了承ください。</p> <p>◆2 染色体同定 (先天性疾患)、SKY 法 (先天性疾患) ヘパリン入り専用容器に採血 G 分染法等では何番染色体に由来するものか判別できなかった marker 染色体や染色体過剰部分の由来を同定します。</p> <p>① G 分染法で染色体検査を行った後にご依頼ください。</p> <p>②既に G 分染法が検査済みの場合には、前回の依頼日、検体 No、核型を依頼書にご記入ください。</p> <p>(注) 依頼書には臨床情報をご記入ください。</p> <p>----- 後略 -----</p>
160	—	染色体 (先天性疾患)	欄外 (◆2)	<p>----- 前略 -----</p> <p>◆2 複数項目をご依頼の場合は、所要日数が記載された日数以上かかりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>----- 後略 -----</p>	<p>----- 前略 -----</p> <p>(なし)</p> <p>----- 後略 -----</p>

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
161	05992 05993	G- 分染法 (血液疾患) Q- 分染法 (血液疾患)	検査方法	24 時間培養法 (mitogen 非添加) ----- 後略 -----	24 時間培養法 (mitogen 無添加) ----- 後略 -----
	-	染色体 (血液疾患)	欄外 (◆ 1 ~ 3)	----- 前略 ----- ◆ 1 末梢血による血液疾患の検査では、しばしば幼若細胞 (blast) の出現がなく、分裂細胞が得られずに分析不能となることがあります。 ◆ 2 SKY 法 (血液疾患) 血液はヘパリン入り専用容器に採血、骨髄液は専用容器に 0.5mL 採取 G 分染法等では何番染色体に由来するものか判別できなかった marker 染色体や染色体過剰部分の由来を同定します。 ① G 分染法で染色体検査を行った後にご依頼ください。 ②既に G 分染法が検査済みの場合には、前回の依頼日、検体 No、核型を依頼書にご記入ください。 ◆ 3 複数項目をご依頼の場合は、所要日数が記載された日数以上かかりますので、あらかじめご了承ください。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- ◆ SKY 法 (血液疾患) (備考) 血液はヘパリン入り専用容器に採血、骨髄液は専用容器に 0.5mL 採取 G 分染法等では何番染色体に由来するものか判別できなかった marker 染色体や染色体過剰部分の由来を同定します。 ① G 分染法で染色体検査を行った後にご依頼ください。 ②既に G 分染法が検査済みの場合には、前回の依頼日、検体 No、核型を依頼書にご記入ください。 ----- 後略 -----
162	-	染色体 (血液疾患)	欄外 (◆ 1)	----- 前略 ----- ◆ 1 複数項目をご依頼の場合は、所要日数が記載された日数以上かかりますので、あらかじめご了承ください。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- (なし) ----- 後略 -----
163	-	血液疾患 (遺伝子再構成)	欄外 (◆)	----- 前略 ----- 検査には有核細胞数が $2 \times 10^7$ 以上必要となるため、骨髄液を 1mL 採取しても DNA 量が足りず、不足となる場合があります。	----- 前略 ----- (なし)
164	13295	骨髄微小残存病変量測定 / 遺伝子再構成の同定 (PCR-MRD/ 再構成同定)	検体必要量	骨髄液 1.0mL [単独検体] 血液 7.0mL [単独検体]	骨髄液 1.0mL 血液 7.0mL
	13296	骨髄微小残存病変量測定 / モニタリング (PCR-MRD/ モニタリング)	検体必要量	骨髄液 1.0mL [単独検体] 血液 7.0mL [単独検体]	骨髄液 1.0mL 血液 7.0mL
165	13440	EZH2 遺伝子変異解析	検体必要量	未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚	スライドまたは未染色パラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚
	11565	EGFR 遺伝子変異解析 v2.0	検体必要量	未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚	未染色パラフィン切片 10 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚
	13090	ROS1 融合遺伝子 -FFPE (ホルマリン固定パラフィン包埋)	検体必要量	未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚	未染色パラフィン切片 10 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚
166	77444	オンコマインマルチ CDx 5 遺伝子 -FFPE	検体必要量と 所要日数	未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚	スライドまたは未染色パラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚
	77445	オンコマインマルチ CDx 5 遺伝子 -凍結組織		9 ~ 12	11 ~ 14
	13676	肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -FFPE	検査項目名 検体必要量	(Amoy DX®) 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -FFPE 未染色スライドまたはパラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚	肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -FFPE スライドまたは未染色パラフィン切片 5 $\mu$ m 厚 5 ~ 10 枚
	13677	肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -凍結組織	検査項目名	(Amoy DX®) 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -凍結組織	肺癌マルチ遺伝子 PCR パネル -凍結組織

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
168	13139	RAS・BRAF 遺伝子変異解析 (KRAS, NRAS, BRAF)	検体必要量	未染色スライドまたはパラフィン切片 5μm厚 5～10枚	未染色パラフィン切片 10μm厚 5～10枚
	13253	マイクロサテライト不安定性検査 (IVD) (MSI 検査 (IVD))	検体必要量	(腫瘍部) 未染色スライドまたはパラフィン切片 5μm厚 5～10枚	(腫瘍部) 未染色パラフィン切片 10μm厚 5～10枚
	07659	BRAF V600 変異解析 (対象: 悪性黒色腫)	検体必要量	未染色スライドまたはパラフィン切片 5μm厚 5～10枚	未染色パラフィン切片 10μm厚 5～10枚
176	05961 } 05963	組織 (1 臓器検査～3 臓器検査)	欄外 (◆3)	----- 前略 ----- 「ヘリコバクター・ピロリの有無」の確認をご希望で、染色名の指定がない場合は、ギムザ染色にて確認を行います。アミロイドーシスの記載がある場合には、コンゴ赤染色にて確認をおこないます。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- (なし) ----- 後略 -----
	17514 } 17516	手術組織 (1 臓器検査～3 臓器検査)			
177	05519	スライド作製	備考	----- 前略 ----- 特に厚さの指定が無い場合には 3μm でコーティングスライドにて作製いたします。	----- 前略 ----- (なし)
	05520	未染スライド作製			
	05441 } 05445	未染色標本作製	備考	--- 前略 --- 特に厚さの指定が無い場合には 3μm でコーティングスライドにて作製いたします。	----- 前略 ----- (なし)
	09077	ヘリコバクター・ピロリ判定	検査方法	ギムザ染色	ギムザ染色・判定 下欄◆参照
	09078			免疫組織化学染色	免疫組織化学染色・判定 下欄◆参照
178	02645 } 02647	胃癌 HER2/IHC	備考	----- 前略 ----- (行を削除)	----- 前略 ----- 提出方法は 209 ページをご参照ください。
	05275	HER2/FISH	提出材料 (必要量)	未染標本 3枚 パラフィンブロック	パラフィンブロック
	05275 00518 04031		備考	----- 前略 ----- (注 1) (行を削除) ----- 後略 -----	----- 前略 ----- (注)1の①、②参照 提出方法は 209 ページをご参照ください。 ----- 後略 -----
	02648		備考	----- 前略 ----- (注 1) (行を削除)	----- 前略 ----- (注)1の①、②参照 提出方法は 209 ページをご参照ください。
180	—	病理・細胞診検体の保管期間	欄外 (スライド)	--- 前略 --- 細胞診陰性標本 婦人科 5年 婦人科以外 10年 ----- 後略 -----	--- 前略 --- 細胞診陰性標本 5年 穿刺吸引材料 10年 ----- 後略 -----
182	05951 } 05955	■免疫組織化学染色	(区分) 免疫グロブリン	IgG,IgA,IgM, κ鎖, λ鎖 (カッコ部分を削除)	IgG,IgA,IgM, κ鎖, λ鎖 (細胞体内糸球体基底膜)
185	02725	婦人科 LBC (婦人科細胞診 ThinPrep 法)	欄外 (●)	婦人科 LBC ThinPrep と HPV 簡易遺伝子型のセット ----- 後略 -----	婦人科 LBC ThinPrep と HPV 簡易ジェノタイプ判定のセット ----- 後略 -----
	17528	婦人科 LBC (腔部頸部 SurePath 法)	欄外 (●)	婦人科 LBC SurePath と HPV 簡易遺伝子型のセット ----- 後略 -----	婦人科 LBC SurePath と HPV 簡易ジェノタイプ判定のセット ----- 後略 -----
	17529	婦人科 LBC (体内膜 SurePath 法)	欄外 (●)		
	—	細胞診検査	欄外 (●)	専門医の判断が必要な検体のみのご提出はお控えください。	(なし)

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
189	—	(参照資料) 細胞性免疫検査, 染色体検査	■体腔液(胸水、腹水、心嚢液、髄液など)や気管支肺胞洗浄液(BALF)などの前処理方法	----- 前略 ----- 2. 管底の濃縮された細胞を静かに混和し、専用容器(B-23)に移しキャップをする。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- 2. 管底の濃縮された細胞を静かに混和し、専用容器に移しキャップをする。 ----- 後略 -----
191	—	(参照資料) 検体の採取・容器およびご提出方法	●血清・血漿分離	血清については、採血後、室温にて20～40分静置して凝固を確認した後、遠心分離(1500×g, 10～15分間)してください。 ----- 後略 -----	血清については、採血後、室温にて20～40分静置して凝固を確認した後、遠心分離してください。 ----- 後略 -----
192	—	(参照資料) 細菌検査の検体の採取方法	●便	----- 前略 ----- 感染性腸炎では、急性期の糞便を検体として用いる。排泄後の便をよく観察し、膿粘血部分があればその部分を採取する。病原菌の検出がない場合、複数回の検査を推奨します。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- (なし) ----- 後略 -----
199	01018 01059 01209 13748	(参照資料) 淋菌及びクラミジア・トラコマチス/リアルタイムPCR、クラミジア・トラコマチス/リアルタイムPCR、淋菌/リアルタイムPCR、脛トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム/リアルタイムPCR 採取方法	うがい液の場合(専用容器: CT/NG PCR-U)	※ No.13748 は対象外 ----- 後略 -----	(なし) ----- 後略 -----
200	03196	(参照資料) クラミジア・淋菌同時測定(TMA法) 採取方法	採取方法	----- 前略 ----- 3. 咽頭からの採取(専用容器: APTIMA-S) (1) 採取前に口腔内洗浄や飲食をしないようにしてください。 (2) 青色スワブ(採取用捲綿子)で扁桃の側面部分を擦過し、擦過物を採取します。	----- 前略 ----- (なし)
208	—	(参照資料) 免疫組織化学染色(IHC)	未染スライドでの提出時の注意点	----- 前略 ----- 1. スライドガラスはコーティングスライドをご使用ください。(カッコ部分を削除) ----- 後略 -----	----- 前略 ----- 1. スライドガラスはコーティングスライドをご使用ください。(シランコート、MASコート等) ----- 後略 -----
209	—	(参照資料) 骨髄検体の前処理法および取り扱い方法	固定液	ライト染色液 A	ライト・ギムザ染色
	—	(参照資料) HER2 タンパク染色、胃癌 HER2/IHC、HER2/FISH、HER2/DISH、肺癌 ALK/IHC、肺癌 ALK/FISH、PD-L1(22C3,28-8,SP142,SP263)/IHC、MMR/IHC、BRAF V600E 変異タンパクの提出方法	1. 固定法	----- 前略 ----- 固定時間 ----- 中略 ----- PD-L1/SP263: 6～72 時間 MMR/IHC: 6～72 時間 BRAF V600E 変異タンパク: 12～72 時間	----- 前略 ----- 固定時間 ----- 中略 ----- (なし)
			2. 材料	----- 前略 ----- 未染スライドにて提出される場合には切片の厚さ 4 μm で薄切し、コーティングスライド(カッコ部分を削除)での提出をお願いいたします。 ----- 後略 -----	----- 前略 ----- 未染スライドにて提出される場合には切片の厚さ 4 μm で薄切し、コーティングスライド(シランコート、MASコート等)での提出をお願いいたします。 ----- 後略 -----

新検査案内掲載ページ	依頼コード No.	検査項目名	変更部分	変更点(新)	変更点(旧)
226	02861	アポリポ蛋白質 A-V 定量 (apo A-V 定量)	検体必要量	血清 0.3mL 又は 血漿 0.3mL	血漿 0.3mL
	03916	HDL 結合 PAF-AH 蛋白質量	検体必要量	血清 0.5mL 又は 血漿 0.5mL	血漿 0.5mL
	03935	PAF-AH 蛋白質量	検体必要量	血清 0.5mL 又は 血漿 0.5mL	血漿 0.5mL
240	06184*	アレルギー特異的リンパ球刺激試験 ALST κカゼイン	保存	必ず室温 [室温] 冷蔵厳禁 ([開封厳禁] を削除)	必ず室温 [室温] 冷蔵厳禁 [開封厳禁]
	06185*	アレルギー特異的リンパ球刺激試験 ALST ラクトフェリン			
	06186*	アレルギー特異的リンパ球刺激試験 ALST αラクトアルブミン			
249	-	環境検査	食品中残留農薬と動物用医薬品検査のご案内	----- 前略 ----- 弊社は ISO/IEC17025(認定 #68000) を取得しており、外部精度管理にも参加し、分析精度の信頼性の維持、管理をしています。	----- 前略 ----- 弊社は ISO17025 を取得しており、外部精度管理にも参加し、分析精度の信頼性の維持、管理をしています。
250	-	環境検査	動物用医薬品検査 (●信頼性)	----- 前略 ----- ・ISO/IEC17025(認定 #68000) を取得しています。	----- 前略 ----- ・ISO17025 を取得しています。
252	13223	レジオネラ属菌 / 迅速法	項目名	レジオネラ属菌 / 遺伝子法	レジオネラ属菌 / 迅速法
253	13223	レジオネラ属菌 / 迅速法	項目名	レジオネラ属菌 / 遺伝子法	レジオネラ属菌 / 迅速法

※アレルギー特異的リンパ球刺激試験ALSTの保存につきまして、新検査案内に一部誤りがございました。


正「必ず室温、[室温]、冷蔵厳禁」 ← 誤「必ず室温、[室温]」

謹んで訂正させていただきます。



## 掲載削除項目

依頼コード No.	検査項目名	最終受託日	BML Information No.	
05345	C1q結合免疫複合体(IC-C1q)	2021年12月24日(金)ご依頼分まで	2022-20	
00648	HCGβサブユニット (遊離HCGβ)/IRMA法	2022年6月23日(木)ご依頼分まで	2022-21	
12142	Y染色体微小欠失解析 (AZF欠失)	2022年7月30日(土)ご依頼分まで	2022-25	
02070	EGFRタンパク染色	1枚	2022年7月30日(土)ご依頼分まで	2022-35
02099		2枚		
07586	先天性難聴の遺伝子解析	2022年12月29日(木)ご依頼分まで	2022-59	
00521	ASTアイソザイム (m-AST) (GOTアイソザイム;m-GOT) (ミトコンドリアGOT)	2023年3月31日(金)ご依頼分まで	2023-2	
00756	サイロイドテスト (抗サイログロブリン抗体半定量)			
00757	マイクロゾームテスト (抗甲状腺マイクロゾーム抗体半定量)			
00383	TSAb/EIA (甲状腺刺激抗体)			
13496	PAC(RIA相当値)/PRA			
13497	PAC(RIA相当値)/ARC			
03325	インスリン抗体			
03884	インスリン抗体( <sup>125</sup> I結合率のみ)			
03690	APRスコア			
02040	抗ミトコンドリアM2抗体定量 (AMA-M2定量)/FEIA法			
00707	ASK半定量 (抗ストレプトキナーゼ価半定量)			
00717	アスペルギルス抗体/CF法			
06662	麻疹/PA法			
05066	HIV-1,2抗原・抗体同時測定定量/CLIA法			
08660	結核菌群同定/HPA法			
08661	マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸同定 (MAC同定)/HPA法			
11595	マイクロサテライト不安定性検査 (HNPCC) (MSI解析(HNPCC))			
00395	大腸菌O157LPS抗体	2023年6月30日(金)ご依頼分まで	2023-15	

新規掲載容器

新	
容器名称：GM管	
容器の貯蔵方法	室温
有効期限	製造後1年
主な適用検査項目	肺がんコンパクトパネル-液性検体

容器変更

	新	旧
容器名称	B-35 全血凍結検体用 (真空採血管)	同左
容器画像		

	新	旧
容器名称	O-48 滅菌綿棒付採取管	同左
容器画像		

	新	旧
容器名称	N 水試験用容器	同左
容器画像		

	新	旧
容器名称	FN2 頸管腔分泌液中癌胎児性 フィブロネクチン用	同左
容器画像	